

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 地理・歴史 科目 地理総合

教科：地理・歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（高等学校 新地理総合（帝国703））

教科 地理・歴史 の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、GIS等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代世界の地域的特色に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	地理に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、世界の多様な文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「結びつきを深める現代世界」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界の地図からみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の国家と日本の位置や領域 国家間の結びつき、主に貿易や交通網、通信網の視点から グローバル化にもなう課題 到着次第、一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代世界の地域の位置や範囲などに着目して主題を設定し、日本の位置や国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に世界でみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元2「地図と地理情報システム」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地図や地理情報システムを基に読み取ることができる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置と時差 地図の役割と種類 地図帳と地図情報システムの活用 一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 さまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報をまとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 地図や地理情報システムの情報に着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地図や地理情報システムから読み取ることができる情報から課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
<p>単元3「生活文化の多様性と国際理解」</p> <p>【知識及び技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことを理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 世界の地形や気候と人々の生活 世界の言語・宗教と人々の生活 歴史的背景と人々の生活 世界の産業と人々の生活 さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 世界の人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことについて理解し、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界の人々の生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元4「地球的課題と国際協力」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解し、持続可能な社会の実現を目指した国際協力の在り方などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・複雑に絡み合う地域と課題</p> <p>・地球環境保全の現状と課題</p> <p>・資源・エネルギー問題の現状と課題</p> <p>・人口、食料、都市・居住問題</p> <p>・さまざまな課題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の関連性などについて大観し理解し、持続可能な社会の実現を目指した国際協力の在り方などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	<p>単元5「さまざまな地域的課題についての探究学習」</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<p>・生徒が自ら主体的に設定した主題</p> <p>・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元6「自然環境と防災」</p> <p>【知識及び技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の自然環境 ・地震・津波・火山と防災 ・気象災害と防災 ・さまざまな地図を活用した備え ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元7「生活圏の調査と地域の展望」</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の調査の技法とまとめ方 ・生活圏の課題及びその解決 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1 合計 78

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本や世界の歴史の展開に関して理解するとともに、歴史的な原典や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し現代の課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	歴史に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の歴史的文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「歴史の扉」</p> <p>【知識及び技能】 「旅」や「憲法制定」を題材に私たちの身近な生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 「旅」や「憲法制定」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、身近な生活が日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料に基づいて歴史が叙述され、資料を批判的な目から見るよう主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料からみる今と昔の「旅」 ・「憲法制定」に関する歴史の特質及び資料 ・到着次第、一人1台端末を活用する 	<p>【知識・技能】 「旅」や「憲法制定」を題材に私たちの身近な生活が、日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「旅」や「憲法制定」を題材に近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>単元2「近代化への問い」</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通の発達や貿易の拡大、教育の均質化が近代化に与えた影響や、産業と人口変化や人権思想の発展と近代化の関係性、産業革命と労働環境や家族関係の変化の理由について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを、見通しをもって主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな課題について、個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通の発達や貿易の拡大、教育の均質化が近代化に与えた影響や、産業と人口変化や人権思想の発展と近代化の関係性、産業革命と労働環境や家族関係の変化の理由について考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、交通、貿易、産業発達と人口増加、権利や義務、教育、産業革命と労働や家族のあり方の変化が近代化の重要な側面であることを、見通しをもって主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>単元3「近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立」</p> <p>【知識及び技能】 大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に産業革命の進展、ウィーン体制の成立と崩壊、アメリカ独立革命とフランス革命の関係性、ラテンアメリカ諸国の独立の様子について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ経済の動向と産業革命 ・アメリカ独立革命とフランス革命 ・19世紀のヨーロッパの動向 ・19世紀の南北アメリカ大陸の動向 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に産業革命の進展、アメリカ独立革命とフランス革命の関係性、ラテンアメリカ諸国の独立の様子について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、大航海時代以降から19世紀末までのヨーロッパ及びアメリカの動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1

1 学期

<p>単元4「近代アジア世界の成立」</p> <p>【知識及び技能】 16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、ヨーロッパの進出との関係性、イスラーム帝国の繁栄と衰退、インドおよび中国の台頭について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ主権国家の成立とアジア進出 ・西アジアにおける大帝国の繁栄と衰退 ・南アジアおよび東南アジアの植民地化の影響 ・中華帝国の発展と日本との関係 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、ヨーロッパの進出との関係性、イスラーム帝国の繁栄と衰退、インドおよび中国の台頭について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、16世紀から19世紀末までのアジア諸地域の大帝国や中国の動向と、ヨーロッパとの関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元5「国民国家と明治維新」</p> <p>【知識及び技能】 明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、自由民権運動と立憲体制、日本の産業革命と日清戦争との関係性、帝国主義と列強の展開について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ主権国家の成立とアジア進出 ・西アジアにおける大帝国の繁栄と衰退 ・南アジアおよび東南アジアの植民地化の影響 ・中華帝国の発展と日本との関係 ・さまざまな主題について、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、自由民権運動と立憲体制、日本の産業革命と日清戦争との関係性、帝国主義と列強の展開について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、明治維新以降第一次世界大戦までの日本の近代化の動向と、おもにヨーロッパでの帝国主義の成立との関係性について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元6「近代化と現代的な諸課題」</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用し、自由と制限、開発と保全、対立と強調の観点から、現代的な諸課題に関わる近代化の特徴を理解し、戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きが近代化の重要な側面であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 近代化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際関係の緊密化と戦争・貿易が与えた影響 ・主にアメリカとソ連の工業生産の増加と世界経済への影響 ・第一次世界大戦後と第二次世界大戦後にそれぞれ目指された植民地独立の意義 ・19世紀後半から20世紀前半におこった大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 ・第一次世界大戦後の生活様式の変化とその影響 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 資料を活用し、自由と制限、開発と保全、対立と強調の観点から、現代的な諸課題に関わる近代化の特徴を理解し、戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きが近代化の重要な側面であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 戦争や交易、世界の工業生産、第一次世界大戦後の植民地問題や生活様式の変化、普通選挙や女性の参政権を求める動きについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元7「総力戦と社会運動」</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本の世界の動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、第一次世界大戦の展開、ベルサイユ体制とワシントン体制の動向、世界経済の変容とナショナリズムについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本と世界の動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開 ・ソビエト連邦の成立とアメリカの台頭 ・ベルサイユ体制とワシントン体制 ・世界経済の変容と日本 ・ナショナリズムと大衆の政治参加、大衆文化の発展 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本の世界の動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、第一次世界大戦の展開、ベルサイユ体制とワシントン体制の動向、世界経済の変容とナショナリズムについて、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、第一次世界大戦以降第二次世界大戦までの日本と世界の動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>単元8「経済危機と第二次世界大戦」</p> <p>【知識及び技能】 世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、世界恐慌の時代、ファシズムと共産主義、日中戦争と第二次世界大戦の展開、国際連合の成立と冷戦のはじまり、日本の占領政策について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と国際的な影響 ・ファシズムの伸長と共産主義 ・日本の大陸政策と日中戦争 ・第二次世界大戦の展開 ・国際連合と国際経済体制 ・日本の占領政策と戦後改革 ・冷戦のはじまりと東アジア諸国の動向 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、世界恐慌の時代、ファシズムと共産主義、日中戦争と第二次世界大戦の展開、国際連合の成立と冷戦のはじまり、日本の占領政策について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、世界恐慌以降冷戦のはじまりまでの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
	<p>単元9「国際秩序の変化と現代的な諸課題」</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用し、対立と強調、統合と分化、平等と格差の観点から、現代的な諸課題に関わる大衆化の特徴を理解し、冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化と大衆化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦の展開と国際関係の変容 ・人と資本の国際的な移動の動向と影響 ・高度情報通信の発展と政治・経済への影響 ・資源・エネルギー問題、地球環境問題、感染症対策などの歴史的展開 ・多様な人々の共存と平和構築への努力 ・自ら主題を設定し、個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 資料を活用し、対立と強調、統合と分化、平等と格差の観点から、現代的な諸課題に関わる大衆化の特徴を理解し、冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存が国際秩序の変化や大衆化の重要な側面であることを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と国際関係、人と資本の国際的な移動、高度情報通信の発展、資源・エネルギー・環境・感染症、多様な人々の共存について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 国際秩序の変化と大衆化の進展について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元10「冷戦と世界経済」</p> <p>【知識及び技能】 冷戦から石油危機までの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、東西両陣営の動向、地域紛争と脱植民地化、軍拡競争と緊張緩和、地域連携の形成と展開、アジアの中の戦後日本について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、冷戦から石油危機までの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦下の地域紛争の展開 ・東西両陣営の動向と脱植民地化 ・軍拡競争と緊張緩和 ・キューバ危機と核軍縮の進展 ・計画経済、石油危機と国際経済の変容 ・日本の高度経済成長とアジアとの関係 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 冷戦から石油危機までの国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、東西両陣営の動向、地域紛争と脱植民地化、軍拡競争と緊張緩和、地域連携の形成と展開、アジアの中の戦後日本について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、冷戦から石油危機までの国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
	<p>単元11「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】 1980年代以降の国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、アジア諸地域の経済発展、情報技術革命とグローバリゼーション、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、地域紛争と国際社会について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、冷戦から石油危機まで1980年代の国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究する態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア諸地域の経済発展 ・グローバリゼーションの進展と国際政治・経済への影響 ・ソ連及び東欧諸国の変化と冷戦終結 ・ソ連の崩壊と新たな世界秩序 ・ヨーロッパなどの地域統合と拡大と変容 ・地域紛争とその解決への国際協力 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 1980年代以降の国際的な動向について諸資料を基に理解する技能を身に付け、歴史的な流れを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 特に、アジア諸地域の経済発展、情報技術革命とグローバリゼーション、冷戦の終結とソ連の崩壊、現代の東アジア、地域紛争と国際社会について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 資料を活用して、1980年代以降の国際的な動向について、歴史的経緯と意義を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
						合計	
						117	

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科

公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書： （ 公共（実教704） ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】 社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】 広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解させ、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「公共の扉」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることにより、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に結び付けられるような態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 原典資料「第二の誕生」から、第二の誕生がどのような状態であるかについて理解する。 社会参加と自己形成の関連について、資料等を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 「一人1台端末」を活用し、主体的に思考・表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出していこうとする自立した主体になることにより、自らのキャリア形成とともによりよい社会の形成に対する自覚を深めようとしている。 	○	○	○	5
<p>単元2「人間としてよく生きる」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想から、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解させる。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理的価値の判断において、先哲の思想を活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを、伝統や文化、先哲の思想に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、公正などの義務を重視する考え方などについて、先哲の思想を踏まえて理解する。 思考実験等に関するグループワークや「一人1台端末」を活用し、主体的および対話的に学習を進める。 社会のなかで生きるにあたって、各宗教の教えから何を学べるかについて、多面的に考察し、適切に表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先哲の思想から、個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 倫理的価値の判断において、先哲の思想を活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを、伝統や文化、先哲の思想に触れることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することを主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	6

1 学 期	<p>単元3「社会とは何か」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に表現、判断する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳や平等について、その背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人の尊重の考え方を理解する。 差別を是正するための取り組みとして、男女共同参画の実現のために行われている内容を理解する。 特に地球環境問題など、将来世代の利益を考慮した公正な意思決定について、思考実験などを活用して協働的に考察・構想し、適切に表現する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	<p>単元4「民主国家における基本原理」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治と国家が何であるか、また民主政治の歴史的な発展と社会契約説の考え方について理解する。 議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題についての理解を踏まえ、多数決の長所と短所を主体的・対話的に考察し、適切に表現する。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して探究学習を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	5
	<p>単元5「日本国憲法の基本的性格」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解させる。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を理解する。 日本国憲法で保障される基本的人権に関する現実社会の課題について理解する。 立憲主義について、「一人1台端末」を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解するとともに、人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて考察し表現する。 法の意義と役割、および我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して解決策を構想する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元6「日本の政治機構と政治参加」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の役割や権限、議院内閣制のしくみや内閣の権限、官主導社会の特徴と課題について理解する。 ・司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解する。 ・地方自治の政治・経済的な課題や都市と地方の格差の課題、それらへの対策として行われた改革について理解する。 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題に対して、思考実験等や「一人1台端末」を活用して主体的・対話的に追究し、表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとしている。 	○	○	○	8
	<p>単元7「現代の経済社会」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の成立と経済社会の展開について理解する。 ・現代経済において株式会社の形態が多いことの理由や、企業の社会的責任（CSR）が求められていることについて考察している。 ・現代の経済社会における企業経営や株主と利害関係者の利益について理解する。 ・金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解する。 ・市場経済における政府の役割と租税を中心とした公的負担の意義と必要性について、「一人1台端末」を活用して主体的に考察し、経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることを中心に表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想しようとしている。 	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元8「経済活動のあり方と国民福祉」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解させる。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働基本権と労働三法の内容や、日本の雇用形態の特徴を理解する。 ・日本の社会保障制度を諸外国との比較において理解し、少子高齢化の進行と社会保障が直面している課題を理解する。 ・2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察する。 ・産業別の将来的な課題について情報を読み取り、それをもとに主体的に考察する。 ・消費社会の現代的な課題について問いを見出し、消費者主権や消費者の権利の観点などから「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解しようとしている。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	9
	<p>単元9「国際政治の動向と課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解させる。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会の成り立ち、国際政治や国際法について理解する。 ・国際連合の機構とその課題、国際紛争の構造的課題について理解する。 ・国際紛争に伴う難民や国内避難民について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解しようとしている。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解しようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとしている。 	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元10「国際経済の動向と課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解させる。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解するとともに、国際収支表の内容と日本の貿易・投資の特徴と変化について理解する。 ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 ・IMF・GATT体制の理解を踏まえて、公正な国際貿易体制について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察し、その内容を表現する。 ・金融のグローバル化による資本の国際取引の活発化と国際金融の不安定性について、具体的な主題を設定し、対話的にその対応策を考察・構想する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解している。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	7
	<p>単元11「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解させる。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人およびグループで「一人1台端末」を活用し、それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解している。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究しようとしている。 	○	○	○	5
	定期考査				○	○	

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】 社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける

科目 選択世界史 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「諸地域世界の歴史的特性の形成 諸地域の歴史的特質への問い」</p> <p>【知識及び技能】 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けること</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現すること</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などの資料を活用し、文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、歴史的経緯と意義を主体的に追究する。</p>	<p>・緒地域の歴史的特性への問い</p> <p>・農耕と牧畜のはじまり</p> <p>・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象に関する相互の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	2
<p>単元2「諸地域世界の歴史的特性の形成 古代文明の歴史的特質」</p> <p>【知識及び技能】 オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解すること</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などの資料を活用し、古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史的経緯と意義を主体的に追究する。</p>	<p>・オリエント文明</p> <p>・インダス文明</p> <p>・中国文明</p> <p>・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象に関する相互の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
定期考査			○	○		1

1
学
期

<p>単元3「諸地域の歴史的特質 秦・漢と遊牧国家, 唐と近隣諸国の動向」</p> <p>【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家, 唐と近隣諸国の動向などを基に, 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因, 結果や影響, 事象相互の関連, 諸地域相互の関わりなどに着目し, 主題を設定し, 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き, 唐の統治体制と社会や文化の特色, 唐と近隣諸国との関係, 遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生業, 身分・階級, 王権, 宗教, 文化・思想などの資料を活用し, 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因, 結果や影響, 事象相互の関連, 諸地域相互の関わりなどに着目し, 主題を設定し, 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き, 唐の統治体制と社会や文化の特色, 唐と近隣諸国との関係, 遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察した観点を踏まえた問いを基に, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 歴史的経緯と意義を主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・春秋、戦国時代の変動 ・中国古代帝国と東アジア ・中央ユーラシア国家形成 ・胡漢融合帝国の誕生 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因, 結果や影響, 事象に関する相互の関連などに着目して, 考察し, 表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり, 対話したりするなどして, 資料にもとづいた考察をしようとしている。また, 主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元4「諸地域の歴史的特質 仏教の成立とヒンドゥー教, 南アジアと東南アジアの諸国家」</p> <p>【知識及び技能】 仏教の成立とヒンドゥー教, 南アジアと東南アジアの諸国家などを基に, 南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因, 結果や影響, 事象相互の関連, 諸地域相互の関わりなどに着目し, 主題を設定し, 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き, 南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色, 東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し, 表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生業, 身分・階級, 王権, 宗教, 文化・思想などの資料を活用し, 南アジアと東南アジアの歴史に関わる諸事象の背景や原因, 結果や影響, 事象相互の関連, 諸地域相互の関わりなどに着目し, 主題を設定し, 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き, 南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色, 東南アジアと周辺諸地域との関係などを, 歴史的経緯と意義を主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インド古代文化の形成 ・古代の東南アジアと海のシルクロード ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因, 結果や影響, 事象に関する相互の関連などに着目して, 考察し, 表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり, 対話したりするなどして, 資料にもとづいた考察をしようとしている。また, 主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10

2 学 期	<p>単元5「諸地域の歴史的特質 西アジアと地中海周辺の諸国家」</p> <p>【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現すること</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などの資料を活用し、西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色などを歴史的経緯と意義を主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエントの統一 ・ギリシア文明 ・ヘレニズム時代 ・ローマ帝国 ・西アジアの国々と諸宗教 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象に関する相互の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	<p>単元6「諸地域の歴史的特質 キリスト教とイスラームの成立」</p> <p>【知識及び技能】 キリスト教徒イスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などをもとに、アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 キリスト教徒イスラームの成立の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、キリスト教徒イスラームの成立の社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現すること</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生業、身分・階級、王権、宗教、文化・思想などの資料を活用し、キリスト教徒イスラームの成立の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、キリスト教徒イスラームの成立の社会や文化の特色などを歴史的経緯と意義を主体的に追究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ・ラテン＝カトリック圏の形成と展開 ・イスラーム圏の成立 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象に関する相互の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>単元7「諸地域の交流・再編 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラーム伝播」</p> <p>・イスラーム圏の多様化と展開 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める</p> <p>【知識及び技能】 西アジア社会の動向とアフリカ・アジアへのイスラームの伝播を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸地域へのイスラームの拡大の要因などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象に関する相互の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒が相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○	

高等学校 令和7年度(3学年用) 教科 地理・歴史 科目 地理探究

教科: 地理・歴史 科目: 地理探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 組~ 組

使用教科書: (高等学校 新詳地理探究 (帝国702))

教科 地理・歴史 の目標:

- 【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、GIS等を用いる技能を習得させる。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 地理探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする	地理に関わる事象の意義や特色、相互の関連を多角的に考察し課題の解決に向けて構想する力や、それらを効果的に表現する力を養う。	地理に関わる諸事象からよりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、世界の多様な文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「自然環境」</p> <p>【知識及び技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとするこ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地形 ・気候 ・日本の自然環境 ・環境問題 	<p>【知識・技能】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然および社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境について、よりよい社会の実現を視野に世界でみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	12
<p>単元2「資源と産業」</p> <p>【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業 ・食糧問題 ・エネルギー・鉱産資源 ・資源・エネルギー問題 ・第3次産業 	<p>【知識及び技能】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>単元3「交通・通信と観光、貿易」</p> <p>【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関する問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信 ・観光 ・貿易 	<p>【知識及び技能】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象をもとに、空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関する問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元4「生活文化、民族・宗教」</p> <p>【知識及び技能】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住 ・民族・宗教・宗教問題 ・国境問題 	<p>【知識及び技能】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象をもとに、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結びつきなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>単元5「さまざまな地域的課題についての探究学習」</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自ら主体的に設定した主題 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 さまざまな国や地域における地理的課題について理解し、持続可能な社会の実現を目指した課題解決について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 さまざまな国や地域における地理的課題について持続可能な社会づくりに着目して自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな国や地域における地理的課題について、よりよい社会の実現を視野にさまざまな課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	○	○		1			
3 学 期	<p>単元6「自然環境と防災」</p> <p>【知識及び技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本や世界の自然環境 ・地震・津波・火山と防災 ・気象災害と防災 ・さまざまな地図を活用した備え ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 日本や世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、備えや対応の重要性などについて理解し、ハザードマップなどを活用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異などに着目して主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元7「生活圏の調査と地域の展望」</p> <p>【知識及び技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の調査の技法とまとめ方 ・生活圏の課題及びその解決 ・個人およびグループで、一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活圏の地理的な課題について、地域の成り立ちや変容に着目して主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	6
			○	○		1 合計	
						78	

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける

科目 世界史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、さまざまな資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	世界の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、それぞれの文明圏の伝統や文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	世界の歴史の展開に関わる諸事象について、複雑化する新たな国際関係を視野に置いて、課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される国際感覚の自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「諸地域の交流・再編 ヨーロッパ封建社会とその展開」</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパ封建社会とその展開を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパ社会の文化の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、ヨーロッパ社会や文化の特徴などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ラテン＝カトリック圏の拡大 ラテン＝カトリック圏の動揺と秩序の変容 個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	14
<p>単元2「諸地域の交流・再編 宋の社会とモンゴル帝国の拡大」</p> <p>【知識及び技能】 宋の社会とモンゴル帝国の拡大を基に、海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、中国社会の特徴やモンゴル帝国が果たした役割などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 中央ユーラシア諸民族と東アジアの変容 モンゴル帝国の成立 個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	17

<p>単元3「諸地域の交流・再編 諸地域の興隆の進展とヨーロッパの進出」</p> <p>【知識及び技能】 諸地域の興隆の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジア諸国の再編 ・海域世界の展開と大交易圏の成立 ・明と東アジア ・ヨーロッパの海外進出 ・大交易時代の海域アジア ・個人やグループで一人1 台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	17
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元4「諸地域の交流・再編 アジア諸地域の特質」</p> <p>【知識及び技能】 アジア諸地域の特質を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中央ユーラシアと西アジアの帝国 ・南アジアの帝国 ・東南アジア諸国の発展 ・清と東アジア ・個人やグループで一人1 台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	18

<p>単元5「諸地域の交流・再編 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大」</p> <p>【知識及び技能】 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的関連の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 交易の拡大、都市の発達、国家体制の変化、宗教や科学・技術及び文化・思想の伝播などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、宗教改革の意義、大西洋両岸諸地域の経済的関連の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパの社会や文化の特色などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスと宗教改革 ・主権国家体制の成立 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追及しようとしている。</p>	○	○	○	20
定期考査			○	○	○	1

2 学 期	<p>単元6「諸地域の結合と変容 国民国家と近代民主主義社会の形成」</p> <p>・産業革命と大西洋革命 ・個人やグループで一人1 台端末を活用し探究学習を進める</p> <p>【知識及び技能】 国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>						34
	<p>単元7「諸地域の結合と変容 世界市場の形成とアジア諸国の変容」</p> <p>・近代ヨーロッパ、アメリカの国民国家 ・個人やグループで一人1 台端末を活用し探究学習を進める</p> <p>【知識及び技能】 世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○		17
	定期考査		○	○	○		1

<p>単元8「諸地域の結合と変容 世界分割の進展とナショナリズムの高まり」</p> <p>【知識及び技能】 世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<p>・地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗</p> <p>・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める</p>	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	16
						合計 156

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
共通テストで出題されるレベルの基礎知識を身に着け、歴史的な原典や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意義や特色、相互に関連する事象を多角的に考察し、現代の課題を歴史的思考をもって理解し、解決に向けて判断表現する力を養う。	社会形成における歴史的背景という視点をもって、よりよい社会の実現を目標として現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の歴史的文化を尊重する人間性を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元 1 「第一次世界大戦と諸地域の変容」</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦と諸地域の変容を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協調主義の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p> <p>中間考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・ヴェルサイユ体制と国際協調 ・アジアのナショナリズムの台頭 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	14
			○	○		1

1 学 期	<p>単元2「第二次世界大戦と戦後の国際秩序 国際関係の緊張と対立」</p> <p>【知識及び技能】 国際関係の緊張と対立を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌とファシズム ・満洲事変と日中戦争 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元3「第二次世界大戦と戦後の国際秩序 第二次世界大戦の展開と諸地域の変容」</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 人々の国際的な移動、自由貿易の広がり、マスメディアの発達、国際規範の変容、科学・技術の発達、文化・思想の展開などに関する資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的な特徴などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦 ・戦後の変革と冷戦のはじまり ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>期末考査</p>			○	○		1

2 学 期	<p>単元4「冷戦と現代世界 紛争解決の取り組みと課題」</p> <p>【知識及び技能】 紛争解決の取り組みと課題を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、国際連盟と国際連合との共通点と相違点、冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦下の安全保障体制 ・脱植民地化と非同盟 ・冷戦の終結と現代世界 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	17
	中間考査			○	○		1
	<p>単元5「世界経済の展開」</p> <p>【知識及び技能】 格差是正の取り組みと課題を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、諸地域間の経済格差や各国内の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と経済統合 ・第三世界の経済 ・産業構造と社会の変化 ・グローバル化と新自由主義の時代 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	14
期末考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元5「科学技術の時代と知識基盤社会」</p> <p>【知識及び技能】 知識基盤社会の展開と課題を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、諸地域の交流の広がりに関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、現代の科学技術や文化の歴史的な特色、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを歴史的経緯と意義を主体的に追及する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境の未来 ・バイオ、生命科学と私たちの生活 ・ICTの発達と情報社会 ・知識基盤社会の形成 ・科学技術と平和 ・個人やグループで一人1台端末を活用し探究学習を進める 	<p>【知識・技能】 単元を構成する知識及び技能について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 単元を構成する事象の背景や原因、結果や影響、事象総合の関連などに着目して、考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 単元を構成する事象に関連する資料から読みとったことを生徒相互に発表したり、対話したりするなどして、資料にもとづいた考察をしようとしている。また、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	合計						78

年間授業計画

成瀬高等学校 令和 7 年度 (第 3 学年用) 教科 地理歴史 科目 日本史探究

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 7 組 単位数： 4 単位

使用教科書： (詳説日本史探究 (山川出版社))

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 地域的特色と日本及び世界の歴史について理解するとともに、調査や諸資料からまとめる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味・意義・概念などを活用し多角的に考察し効果的に説明したり議論したりする力を養う
- 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に解決しようとする態度を養い、我が国への愛情、他国文化の尊重に対する自覚を深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史の展開に関わる諸事情に関して地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的に理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本の歴史の展開に関わる事象の意義などを多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本の歴史の展開に関わる諸事象についてより良い社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養い、多面的・多角的な考察や深い理解を通して自国及び他国やその文化を尊重する自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。 ・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して政治的変革とその過程を考察する。	・開国と幕府の滅亡 ・明治維新と富国強兵 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料を考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	14
	・東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉の進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯とともに、日露戦争の経過、戦後の日本の地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連させる。	・立憲国家の成立と条約改正 ・日清・日露戦争と国際関係 ・問題演習	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査 ・第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて考察する。 ・ワシントン体制に至る国際協調体制の進展など国際環境の推移を日本の立場に着目して理解する。	・第一次世界大戦とワシントン体制	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	18
	・日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。 ・戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。	・近代産業の発展と社会運動 ・恐慌の時代と軍部の台頭	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	20
定期考査						1	
2 学期	・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。 ・占領政策および戦後の民主化政策とそれに伴う諸改革について経過と内容を理解する。	・第二次世界大戦 ・占領下の改革と冷戦の影響	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。				34
	定期考査					1	
	・独立後の日本国内政治について衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。 ・高度経済成長とその終焉までの過程について政治・外交等の諸事象を踏まえて考察させる。	・55年体制下の高度成長 ・経済大国から社会の停滞へ	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	34
定期考査						1	
3 学期	・日本史全体の流れの確認と共に史資料や地図、文化、芸術などテーマから俯瞰できる視点を養う。	・入試対策	【知識及び技能】 ・各単元の事象の影響、背景、変化などを理解している。 【思考力、判断力、表現力】 ・政治や文化など史資料や作品などを通して読解、判断し、表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に考察、追究しようとしている。	○	○	○	16
						合計 156	

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 社会的な見方・考え方を働かせる土台となる知識技能を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】 課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立って思考し、相手に伝わる表現力を身に着ける。

【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に着ける。

科目 歴史総合演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
共通テストで出題されるレベルの基礎知識を身に着け、歴史的な原典や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意義や特色、相互に関連する事象を多角的に考察し、現代の課題を歴史的思考をもって理解し、解決に向けて判断表現する力を養う。	社会形成における歴史的背景という視点をもって、よりよい社会の実現を目標として現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、日本や世界の歴史的な文化を尊重する人間性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元1 グローバル化と私たち 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う。	・冷戦下の地域紛争と脱植民地化 ・東西両陣営の動向と1960年代の社会 ・軍拡競争から緊張緩和	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	6
	単元2 冷戦構造と世界経済 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・軍拡競争から緊張緩和 ・地域連携の形成と展開 ・計画経済とその波及	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	単元3 冷戦と世界経済 世界秩序の変容 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・日本の高度経済成長 ・アジアのなかの戦後日本 ・石油危機 ・アジア諸地域の経済発展	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	10

	<p>単元4 世界秩序の変容と日本</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石油危機 アジア諸地域の経済発展 市場開放と経済の自由化 	<p>【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元5 世界秩序の変容と日本</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術革命とグローバリゼーション 冷戦の終結とソ連の崩壊 現代の東アジア 	<p>【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。</p>	○	○	○	10
	2学期	<p>単元6 世界秩序の変容と日本 現代的な諸課題の形成と展望</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア・アフリカ・ラテンアメリカの民主化 地域統合の拡大と変容 	<p>【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。</p>	○	○	○
	中間考査			○	○		1
	<p>単元7 現代的な諸課題の形成と展望</p> <p>【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域紛争と国際社会 現代と私たち 	<p>【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。</p>	○	○	○	10
	期末考査			○	○		1

3 学 期	単元 8 総合問題 【知識及び技能】 資料を活用して、指導項目に関する事項を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指導項目に関する事項について、その関連性や意義について考察し、共通点や相違点について思考し、現代との関連性について理解する。また、その内容を的確に判断し、表現して伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 資料を活用して、指導項目に関する事項を、他の歴史事象や現代社会との因果関係と関連付けて疑問をもち、主体的に追究する態度を養う	・共通テストレベルを基準とした総合的な資料の読み取り演習	【知識・技能】 問われている基礎知識について、理解しその歴史的意義について解答することができる。 【思考・判断・表現】 問われている歴史的事象について、歴史的意義について思考して、因果関係を判断し、的確な言語表現により相手に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歴史事象を学ぶうえで、疑問をもって学習にあたり、探究的思考でとらえる姿勢を持ち続けることができる。	○	○	○	10
							合計

成瀬高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組 必修選択科目

使用教科書：（政治・経済（東書701））

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手がかりとなる概念や理論などについて理解させるとともに、諸資料から社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けさせる。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や、政治・経済に関する概念や理論などを活用させて、現実社会における複雑な課題を把握させ、身に付けた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想させ、構想したことの妥当性や効果などを指標に協議させるとともに、合意形成や社会参画、公正な判断を行わせ表現させる。	よりよい社会の実現を視野に、現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民としての自覚を深めさせ、自国や世界の平和と繁栄により積極的な役割を果たそうとする意識を高めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「現代社会の諸課題と解決のための概念や理論」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に表現、判断する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳や平等について、その背景にある生命尊重と非暴力の思想や、個人の尊重の考え方を理解する。 差別を是正するための取り組みとして、男女共同参画の実現のために行われている内容を理解する。 特に地球環境問題など、将来世代の利益を考慮した公正な意思決定について、思考実験などを活用して協働的に考察・構想し、適切に表現する。 人間の尊厳と平等、個人の尊重といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、個人の尊重、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理についての理解を踏まえ、社会のあるべき姿を構想し、多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	7
<p>単元2「民主国家における基本原理」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 政治と国家が何であるか、また民主政治の歴史的な発展と社会契約説の考え方について理解する。 議会制民主主義と多数決原理、民主政治の課題についての理解を踏まえ、多数決の長所と短所を主体的・対話的に考察し、適切に表現する。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、民主主義といった公共的な空間における基本的な原理について、「一人1台端末」を活用して探究学習を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間における基本的原理について、思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して、個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保をともに進めることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

1
学
期

<p>単元3「日本国憲法の基本的性格」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解させる。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 明治憲法下の政治機構と日本国憲法下の政治機構の相違点を理解する。 日本国憲法で保障される基本的人権に関する現実社会の課題について理解する。 立憲主義について、「一人1台端末」を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 新しい人権の内容とそれらの権利が主張されるようになった背景について理解するとともに、人権侵害の課題や人権の国際化の動きについて考察し表現する。 法の意義と役割、および我が国の安全保障と防衛について主体的に追究して解決策を構想する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割など、憲法の下での適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整することで権利や自由が保障されていくことについて理解している。 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら具体的な主題を設定し、その解決に向けて事実をもとに協働して考察・構想し、論拠をもって表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法や規範の意義及び役割、我が国の安全保障と防衛などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	9
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元4「日本の政治機構と政治参加」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 国会の役割や権限、議院内閣制のしくみや内閣の権限、官主導社会の特徴と課題について理解する。 司法権の独立や裁判のしくみ、各裁判所の役割について理解する。 地方自治の政治・経済的な課題や都市と地方の格差の課題、それらへの対策として行われた改革について理解する。 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題に対して、思考実験等や「一人1台端末」を活用して主体的・対話的に追究し、表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題をもとに、個人や社会の紛争を調停、解決することなどにより社会の秩序が形成、維持されることについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題についての理解をもとに、よりよい社会の形成について考察・構想し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、論拠をもって表現しようとしている。 	○	○	○	9

2 学 期	<p>単元5「現代の経済社会」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の成立と経済社会の展開について理解する。 ・現代経済において株式会社の形態が多いことの原因や、企業の社会的責任（CSR）が求められていることについて考察している。 ・現代の経済社会における企業経営や株主と利害関係者の利益について理解する。 ・金融の仕組みと金融機関の役割、通貨価値の安定や景気安定のための金融政策や金融の自由化などの動きについて理解する。 ・市場経済における政府の役割と租税を中心とした公的負担の意義と必要性について、「一人1台端末」を活用して主体的に考察し、経済活動と個人の尊重をともに成り立たせることを中心に表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現代的な動きについて理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることや、市場経済の機能や政府の役割について、思考・表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な主題を設定し、現代の経済社会の特徴を踏まえてその主題の解決に向けて事実をもとに主体的かつ協働して考察・構想しようとしている。 	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>単元6「経済活動のあり方と国民福祉」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解させる。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解させる。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働基本権と労働三法の内容や、日本の雇用形態の特徴を理解する。 ・日本の社会保障制度を諸外国との比較において理解し、少子高齢化の進行と社会保障が直面している課題を理解する。 ・2000年代以降、景気が拡大しても経済成長率が伸び悩んでいる理由について、多面的・多角的に考察する。 ・産業別の将来的な課題について情報を読み取り、それをもとに主体的に考察する。 ・消費社会の現代的な課題について問いを見出し、消費者主権や消費者の権利の観点などから「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な契約及び消費者の権利と責任、社会保障の充実・安定化などについて理解している。 ・国民福祉の向上に関する政府の役割について理解しようとしている。 ・消費者の権利や社会保障に関する諸資料を効果的に収集しまとめる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済社会のあり方についての具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて考察・構想し、論拠をもって表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公正かつ自由な経済活動を行うことを通してより活発な経済活動と経済社会の安定化が実現することについて、主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	8
	<p>単元7「国際政治の動向と課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解させる。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主権国家と国際社会の成り立ち、国際政治や国際法について理解する。 ・国際連合の機構とその課題、国際紛争の構造的課題について理解する。 ・国際紛争に伴う難民や国内避難民について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察・構想し、その内容を表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際貢献を含む国際社会における我が国の役割に関わる事柄について理解しようとしている。 ・主権国家の行動を規律し国際間の秩序をつくり出す国際法の意義と役割について理解しようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に冷戦の展開と冷戦後の日本と世界について、具体的な主題を設定し、考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家主権、領域、安全保障と防衛といった現実社会の課題について、主体的に追究し解決しようとしている。 	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	

	<p>単元8 「国際経済の動向と課題」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解させる。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由貿易のメリットを、比較生産費説をもとに理解するとともに、国際収支表の内容と日本の貿易・投資の特徴と変化について理解する。 ・円高や円安が日本経済に与える影響について、輸入業者や輸出業者の具体的な取引をもとに理解する。 ・IMF・GATT体制の理解を踏まえて、公正な国際貿易体制について、「一人1台端末」を活用して協働的に考察し、その内容を表現する。 ・金融のグローバル化による資本の国際取引の活発化と国際金融の不安定性について、具体的な主題を設定し、対話的にその対応策を考察・構想する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済のグローバル化と世界各地における経済的相互関係の深まりについて理解している。 ・国際社会における貧困や格差の問題といった課題について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動が世界的な規模で自由に行われていることが引き起こす課題について、自ら主題を設定し、多面的・多角的に考察している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国が経済的により緊密に結び付いていることを踏まえて、国際経済の課題を具体的に設定し、それらについて主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	8
3 学 期	<p>単元9 「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解させる。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人およびグループで「一人1台端末」を活用し、それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択した現実社会の諸課題について、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・よりよい社会の実現を視野に、それぞれが選択した現実社会の諸課題に関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会市民として、よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成について理解している。 ・ともに生きる社会を築くという観点から問いや課題を設定し、その課題の解決に向けて論拠をもとに自分の考えを説明、論述させる技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、これまでの学習のまとめとなる公共的な空間における基本的原理について、総合的に判断・構想し、その内容を表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人を起点として、自立、協働の観点から、多様性を尊重し、合意形成や社会参画を視野に入れながら探究しようとしている。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1 合計 78

【知識及び技能】進路実現に向けての基礎的・基本的知識の定着させ、探究学習のためICT等を用いる技能を習得させる。

【思考力、判断力、表現力等】社会的な課題を追究・解決する思考・判断の力と、それを的確に表現する力を身に付けさせる。

【学びに向かう力、人間性等】広い視野に立ちグローバル化する国際社会において主体的に生きる人間性を身に付けさせる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古今東西の先哲の知的蓄積を通して、現代の諸課題をとらえ、より深く思索するための概念や理論について理解させるとともに、原典を中心とした諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報をまとめる技能を身に付けさせる。	自立した人間として他者とともによりよく生きる自己の生き方についてより深く思索させ、現代の倫理的諸課題を解決するため、身に付けた概念や理論を活用して対話的・論理的に思考させ表現させる。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究させ、他者とともによりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や思索を通して現代社会に生きる人間としての自覚を深めさせる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元1「人間の心のあり方」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解させ、他者とともによりよく生きる人間のあり方についての知識を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察させ、他者とともによりよく生きる人間のあり方について思考させ表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて、自分自身に関連付けてとらえ、他者とともによりよく生きるあり方を主体的に探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 青年期に関する現代のデータを読み取り、自らの現状と社会的な立ち位置について理解する。 エリクソン、ルソー、フロイトなどの原典資料から、青年期がどのような状態であるかについて理解する。 社会参加と自己形成の関連について、資料等を活用して多面的に考察し、適切に表現する。 「一人1台端末」を活用し、主体的に思考・表現する。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者とともによりよく生きる人間のあり方についての知識を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者とともによりよく生きる人間のあり方について思考し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて、自分自身に関連付けてとらえ、他者とともによりよく生きるあり方を主体的に探究する態度を身に付けている。 	○	○	○	5
<p>単元2「古代ギリシアの思想」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシア哲学の誕生、ソフィストの活動やソクラテスの生涯、プラトンのイデア論やアリストテレスの正義観、ヘレニズムの思想についての基礎的・基本的知識を身に付ける。 ソクラテスの産婆術に関するグループワークや「一人1台端末」を活用し、主体的および対話的に学習を進める。 社会のなかで生きるにあたって、プラトンとアリストテレスにおける徳のとらえ方を手がかりに、多面的に考察し、適切に表現する。 よりよい社会の実現を視野に、ヘレニズムの思想を具体的にあげてはめ考えるなど、人間としてのあり方生き方についての自覚を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目して、古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について理解している。 人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシアの思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に追究しようとしている。 	○	○	○	5

1学期	<p>単元3「宗教と社会1」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解させ、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究させる態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デュルケームの考え方や歴史的事実、古代ユダヤ教と旧約聖書、イエスの説いた神や愛の教え、パウロの思想と伝道についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・旧約聖書と新約聖書の比較を、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・イエスが説いた神と愛の教えについて、古代ギリシア思想と比較したりしながら多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・パウロの思想や教父哲学、スコラ哲学といったキリスト教の発展について、主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解し、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、古代ユダヤ教や原始キリスト教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。 	○	○	○	4
定期考査				○	○		1
1学期	<p>単元4「宗教と社会2」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究させる態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ムハンマドの教えや歴史的背景、クルアーンとイスラーム世界、バラモン教とウパニシャッド哲学、ブッダの苦の認識や慈悲の実践についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・古代ユダヤ教、キリスト教、イスラーム教の比較を、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・ブッダが説いた縁起の法の特徴について、ムハンマドの思想と比較したりしながら多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・部派仏教や大乘仏教の成立といった仏教の発展について、主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響を、イスラーム教や古代インド思想、仏教における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。 	○	○	○	7
1学期	<p>単元5「中国の思想」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本だけでなく東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究させる態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諸子百家の代表的な思想や歴史的背景、孔子と儒家と儒教、老荘思想についての基礎的基本的知識を身に付ける。 ・孔子、墨子、老子の思想を比較しつつ、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・儒教の展開と日本や朝鮮半島への影響について、多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・老荘思想に代表される道家の思想について、主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本だけでなく東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに多面的・多角的に考察し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジア世界の社会思想形成に大きな影響を及ぼした、古代から中国の伝統思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに考察する活動を通して、人間としての在り方生き方や世界の在り方について主体的に探究している。 	○	○	○	7
定期考査				○	○		1

	<p>単元6「近代と人間尊重の精神1」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。</p>	<p>・ルネサンス期の思想とその展開、宗教改革に関わる歴史的事実、科学的思考に端を発する経験論と合理論、社会契約説についての基礎的知識を身に付ける。 ・ルネサンス期に登場したさまざまな思想家について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・ペーコンとデカルトに代表される経験論と合理論について、多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・社会契約説について、公共での既習事項を踏まえて主体的に理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に探究している。</p>	○	○	○	8
2 学 期	<p>単元7「近代と人間尊重の精神2」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にカントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について理解させる。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。</p>	<p>・カントとヘーゲルの思想とその展開、社会改革の諸思想に関わる歴史的背景、近代理性批判の諸思想についての基礎的知識を身に付ける。 ・功利主義、社会主義、プラグマティズムを唱えたさまざまな思想家について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・カントとヘーゲルに代表される主観論と客観論について、多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・キルケゴールやニーチェといった理性に対する批判的思想について、主体的に理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、現代の価値観に影響を与えた西洋近代の思想、特にカントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・カントとヘーゲル、社会変革の諸思想、近代の理性中心の在り方への批判における人生観、倫理観、世界観を手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に探究している。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>単元8「現代の思想と人間観の問い直し」 【知識及び技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目させ、20世紀以降の諸思想について、従来人間観や世界観、言語観がどのように問い直されかのかという視点から理解させる。 ・20世紀以降の諸思想に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・20世紀以降の諸思想について、従来人間観や世界観、言語観との違いについて多面的・多角的に考察させ、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めさせ、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・20世紀以降の諸思想について、従来人間観や世界観、言語観との違いを手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるような態度を養う。</p>	<p>・ハイデガーやヤスパース、サルトルの思想とその展開、現象学や実存主義の諸思想に関わる歴史的背景、近代理性批判の諸思想についての基礎的知識を身に付ける。 ・フーコーなどポストモダンに分類されるさまざまな思想家について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・レヴィ=ストロースなどの構造主義について、具体的かつ多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・フランクフルト学派における理性についての思想について、コミュニケーションや言語論を中心に主体的に理解を深める。</p>	<p>【知識・技能】 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在に着目し、20世紀以降の諸思想について、従来人間観や世界観、言語観がどのように問い直されかのかという視点から理解している。 ・20世紀以降の諸思想に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・20世紀以降の諸思想について、従来人間観や世界観、言語観との違いについて多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深め、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・20世紀以降の諸思想について、従来人間観や世界観、言語観との違いを手がかりに、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるよう主体的に探究している。</p>	○	○	○	7

<p>単元9「日本人の精神風土」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目させ、日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解させる。 ・日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深めさせ、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本における仏教の展開と仏教観、儒教の影響とその展開、国学や庶民に展開した諸思想に関わる歴史的背景、幕末の諸思想についての基礎的知識を身に付ける。 ・奈良仏教、平安仏教、浄土教などについて、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・朱子学と陽明学に代表される日本の儒教思想の展開と思想形成について、具体的かつ多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・本居宣長など国学の思想について、「ますらをぶり」と「たおやめぶり」を中心に主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目し、日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解している。 ・日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深め、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土と伝統などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究しようとしている。 	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>3学期</p> <p>単元10「日本の近代化と思想形成」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目させ、近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解させる。 ・近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集させ、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深めさせ、表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察させ、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明治維新後の欧米思想の受容、日本独自の思想の展開、大正デモクラシー後の諸思想に関わる歴史の展開、戦後の諸思想についての基礎的知識を身に付ける。 ・西田哲学の特徴について、「一人1台端末」を活用して得た情報を効果的にまとめ表現する。 ・内村鑑三や新渡戸稲造に代表される日本のキリスト教思想の展開について、具体的かつ多角的・多面的に考察し、グループ協議などで適切に表現する。 ・丸山正男や柳田邦夫など戦後のさまざまな思想家について、戦後日本の政治の歴史と地域における伝統文化を中心に主体的に理解を深める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目し、近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己の関わりにおいて理解している。 ・近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めるのに必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて思索を深め、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代化する日本の状況と思想形成とその変容などをもとに、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について多面的・多角的に考察し、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方を自己とのかかわりにおいて探究している。 	○	○	○	8

<p>単元11「国際社会に生きる日本人としての自覚についてのテーマ学習」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した事項を基盤として、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和の中から1つテーマを選ばせ、主体的な考察に必要な事項について理解させる。 ・テーマを選ばせ、国際社会に生きる日本人としての観点から問いや課題を設定するために必要な技能を身に付けさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選ばせ、自ら問いや課題を思考させ、それについて多面的・多角的に考察・構想させ、その内容を表現させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選ばせ、自ら設定させた問いや課題について、他者との対話を踏まえて自らの思考・判断を振り返り調整させながら、主体的に探究する態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人およびグループで「一人1台端末」を活用し、それぞれが選択したテーマについて、必要な知識や理解を習得する。 ・それぞれが選択したテーマについて、必要な情報を収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・国際社会に生きる日本人としての観点を踏まえ、それぞれが選択したテーマに関する多面的・多角的な考察や深い理解を通して、主体的・対話的に探究学習を深め、最適解を求める。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1編で学習した事項を基盤として、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和の中から1つテーマを選び、主体的な考察に必要な事項について理解している。 ・テーマを選び、国際社会に生きる日本人としての観点から問いや課題を設定するために必要な技能を身に付けている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選び、自ら設定した問いや課題を思考し、それについて多面的・多角的に考察・構想し、その内容を表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選び、自ら設定した問いや課題について、他者との対話を踏まえて自らの思考・判断を振り返り調整しながら、主体的に探究している。 	○	○	○	5
定期考査			○	○		1 合計 78